

他の地域協議会の開催状況等について

令和4年7月

淀川河川事務所

直近の協議会

開催日：平成31年2月28日

主要議題：・大山崎地区公園整備計画の一部修正について

大山崎地区公園整備計画における未開園区域について、該当箇所にはオギ群落が形成され、カヤネズミ等の哺乳類やオオヨシキリ等の鳥類が好む自然環境が提供されているため、整備方針、整備内容の変更が審議された。

従前の計画

◆整備方針(2)淀川の自然環境の保全・再生を図る

(出典：H30年度上流域地域協議会資料)

河川の横断及び縦断方向での自然環境の連続性に留意しながら、自然環境のネットワーク及び淀川の特徴ある水辺の景観が保全・再生されるよう、水際における河川形状の修復などにより、干潟や砂州、ヨシ原、ワンド、たまりをはじめとする水陸移行帯や淀川固有の生物が生息・生育できる場の保全・再生を図る。

◆整備方針

○大山崎地区と、下流側に隣接する桂川河川敷公園との間の空間を、今ある自然資源(オギ群落等)を残しつつ、自然観察等淀川の自然に親しむ場として活用しやすくします。また、移動しやすさが改善することで、両公園の連携利用がしやすくなるようにします。

◆整備内容

1. 開園区域の拡大 (つながりの改善)

・隣接する桂川河川敷公園との一体的な利用を促進するため、開園区域を拡大し、園路やサインを設ける。

2. 自然観察の場としての利活用 (魅力の向上)

・今ある自然資源(オギ群落など)を活用した、淀川の自然に親しめる場を設ける。

変更後の計画



未開園区域の整備

御幸橋野草地区公園整備計画

(H29.11に策定された計画に基づき、R3年度より工事開始)

(御幸橋野草地区公園整備計画)

■御幸橋野草地区（仮称）の整備・維持管理計画（案）

1. 踏み分け道を活用した木津川に面した周遊ルートの整備 (魅力の向上)

- ・現状の踏み分け道を歩きやすく整備し、木津川に沿って散策、ウォーキング、ジョギングにより周遊できるルートを整備する

2. 観光スポットとして利用可能なビューポイントの整備 (魅力の向上)

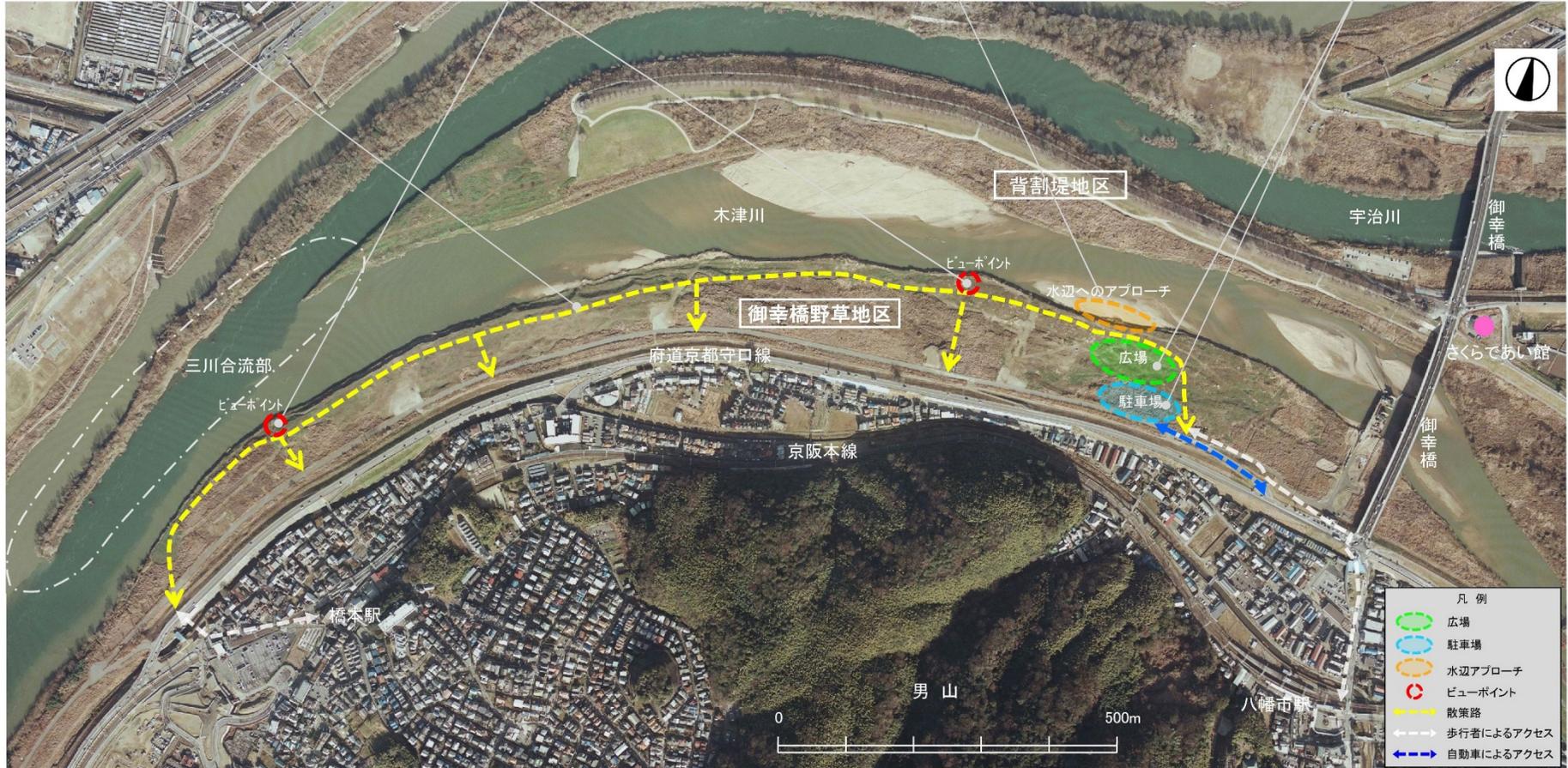
- ・周遊園路沿いにビューポイントを設け、ベンチや景観を解説するサインを設置する。
- ・サインには、三川合流部や対岸の天王山の景観を楽しむ、観光スポットとしての利用を想定した情報を盛り込む

3. 木津川の水面にアプローチできる場の確保 (魅力の向上)

- ・かつての木津川水泳場の付近に、カヌーやSUP（スタンドアップパドルボード）、かつて存在した淀川の左右岸を結ぶ“渡し”の復活イベント等への利用を想定し、左岸側から水際部の砂洲に降りられるアプローチルートを確保する

4. 御幸橋野草地区の利用のための施設整備 (快適性の向上)

- ・木津川の水面利用や自然観察のバックヤードとして利用できる広場を整備する
- ・公園利用の利便性を確保するための駐車場を整備する



直近の
協議会

開催日：令和3年6月18日
 主要議題：・点野野草地区の整備について
 ・枚方・三矢地区の整備について

点野野草地区公園整備計画

1. ワンドの環境改善
 (ゾーニング計画の実現)
 ・点野ワンドにおける環境改善のための植生管理の実施(伐木、外来種の除去等)

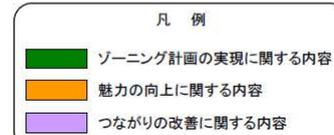
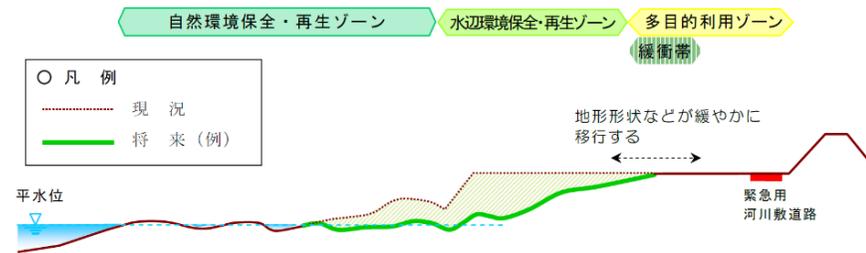
2. 水辺環境の再生
 (ゾーニング計画の実現・つながりの改善)
 ・点野砂州付近の高水敷の切り下げによる水辺との連続性・アクセス性の改善
 ・本川とワンドとの通水性の改善

4. 運動施設の多目的利用化の促進
 (魅力の向上)
 ・陸上トラックの多目的利用の促進(グラウンドゴルフ等への利用目的の拡大)

6. サービスセンターの活用
 (魅力の向上)
 ・点野ワンド、点野砂州における自然環境の学習プログラム実施拠点としてのサービスセンター等の有効活用の促進

5. 情報板の設置
 (魅力の向上)
 ・茨田堤の碑など、淀川と地域の歴史の関わりや、市民団体等による環境づくり活動を紹介する情報板の設置

3. 水景施設の見直し
 (魅力の向上)
 ・徒渉池の現有流水システムの廃止
 ・池の跡地利用の検討(湿地性植物の誘導の試行等)



「点野水辺プロジェクト」をH27年度に発足させ、ワークショップを14回開催して高水敷切下げ事業の内容を検討し、R3年度末に切下げ区域の上面整備が完了。

点野水辺づくりプロジェクトの経緯

平成25年3月：太間・点野野草地区公園整備計画策定

・点野地区でワンドの環境改善、水辺環境の再生を位置づけ

平成25年9月：中流左岸地域協議会にて、点野野草地区を親水のモデル地区に選定

・点野野草地区を淀川中流左岸域の「みんなで育てる河川公園（仮称）」モデル地区として選定

平成26年9月：「点野の水辺づくりワークショップ」をスタート

・点野地区の「良いところ」「悪いところ」をテーマに、整備と管理について意見交換

平成28年5月：「点野水辺プロジェクト」として展開開始

・水辺利用が盛んな点野地区で、本格的な親水空間づくりに必要な「切り下げ事業」実施する「点野水辺づくりプロジェクト」を発足

～現在まで「点野水辺プロジェクト」を継続的に実施

平成27年度～令和2年度：ワークショップにて意見交換

ワークショップの開催
平成27～令和2年度（計14回実施）

高水敷の切り下げ工事の実施
令和2年度 高水敷の切下げ
令和3年度 上面整備

三矢地区の課題

- ・運動施設(テニスコート)が水辺環境保全・再生ゾーンに配置されている
- ・テニスコート4面のうち2面は洪水被害が大きく、未復旧のため使用停止中



枚方・三矢地区公園整備計画の整備内容の変更

整備内容(修正前)

- ・多目的広場を整備し、グラウンドゴルフの実施が可能なエリアとする
- ・多目的広場の利用ルールづくりに取り組む

整備内容(修正後)

- ・現在使用できない施設を含め、多目的に利用できる広場に転換
- ・施設撤去後の跡地を活かし、関係者が主体となった自然環境とふれあえるプログラムの場の提供

使用出来ず、使われていないテニスコート施設の再整備を、公園整備計画の改訂を行った上、ゾーニング計画に合わせた位置で、バスケットボール等も可能な「多目的広場の整備」を行った。

鳥飼上地区公園整備計画の変更

老朽化により使用していない運動施設を、多様なローラースポーツのニーズを考慮したローラースケート場のリニューアルや臨時駐車場としても利用できる広場の再整備へと、公園整備計画の内容が変更された。

■鳥飼上地区の整備内容

3. 案内サイン等の設置

(つながりの改善)

- ・河川公園と鳥飼サービスセンターの相互利用を促進するための、サイン等の情報発信ツールの設置

2. テニスコートの臨時駐車場への転換

(快適性の向上)

- ・老朽化により利用されてないテニスコートの撤去、臨時駐車場としても利用できる広場を整備

1. 使用していない運動施設の新たな多目的用途施設への転換

(魅力の向上)(自然環境への配慮)

- ・使用していないテニスコートと老朽化したローラースケート場について、多目的利用が可能な芝生広場の整備を行う。
- ・老朽化したローラースケート場については、近年の多様なローラースポーツのニーズにも考慮したうえで、施設規模を縮小した再整備を行う。



中流右岸地域協議会

大塚地区をモデルに、河川公園の魅力を発見するプロジェクトを昨年度から開始。

大塚地区利活用活性化プラン(R2年度の大塚地区ワーキングに提案済み)

河川敷で開催できる話題性のあるイベントを少しずつ増やし、季節ごとに何かが行われているようにする



<イベントの例>
・オリエンテーリング/ロゲイニング
・アドベンチャーレース



<イベントの例>
・パッタオリンピック
・くらわんか筏レース

<イベントの例>
・フィールドアート
・クラブワークショップ



<イベントの例>
・フィールド鬼ごっこ大会
・電動のりものレース



大塚地区の魅力アップにつながる本年度のアクション(予定)

- ・大塚地区の自然環境の魅力を楽しむセミナーの開催
- ・昨年度に試行した「野草迷路」を期間を延ばして実施
- ・中流右岸地域の地域住民(特に高槻市の市民)に淀川河川公園の魅力をPR



【行動計画面案】

令和3年度	令和4年度	令和5年度以降
<p>大塚地区の魅力の発見、活用方法について検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大塚地区魅力発見セミナー ・大塚地区WG会議 ・関係者のヒアリング ・利用者へのヒアリング 	<p>公園整備計画改訂</p> <p>今後の整備の設計・調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園管理者業務発注 ・調査・設計の実施 <p>情報共有</p> <p>大塚地区魅力発見プロジェクト(仮称)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力・楽しみ方伝達 ・大塚地区WG会議 ・課題解決検討 ・利用者へのヒアリング 	<p>工事発注</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事発注 <p>大塚地区魅力発見プロジェクト(仮称)</p>